

北海道社会福祉士会
子どもの未来を考えるシンポジウム 2017
 ～児童福祉法改正を踏まえて～

***開催目的**

現在、社会的な課題である児童虐待、子どもの貧困、障がい児支援、いじめや不登校、またその原因となる親や世帯の課題が制度をまたいで山積する中、本会では、未来ある子ども達が安全に安心して成長できる社会の構築を図ることを目的として2016年に子ども未来部会を設置いたしました。

このたび改正された児童福祉法では、「子どもの権利条約」を基本理念とし、保護者支援とともに家庭支援の強化が盛り込まれております。また、関連して社会福祉法の改正でも世代・分野を超えた横断的な連携のあり方が求められています。

このような改革的な法整備が進められる中で、児童福祉や教育に携わる専門職のみならず、広く関心のある市民の皆様とともに「子どもの未来のあり方」について共に考えることを目的に開催いたします。

***日時** 平成29年12月9日(土) 13時30分～16時30分

***会場** かでる2.7 8階 820会議室(札幌市中央区北2条西7丁目)

***内容**

時 間	内 容
13:00	受付
13:30	開催挨拶
13:35～ 15:00	講演 「(仮) 子どもたちを取り巻く現状と課題」 ～児童福祉法改正を踏まえて～ 講師 日本女子大学人間会学部社会福祉学科 教授 林 浩 康 氏
15:00	寸劇(前半)「子どもの貧困と不登校」社会福祉士会子ども未来部会委員 休憩 (10分)
15:20	シンポジウム「北海道の子どもの今とこれからについて」 ～実践者の視点から見えるもの～ アドバイザー 日本女子大学社会福祉学科 教授 林 浩康 氏 コーディネーター 北海道社会福祉士会 会長 清野 光彦 シンポジスト 1.フリーソーシャルワーカー 池田 真紀 2.スクールソーシャルワーカー 鹿川 靖子 3.児童養護施設札幌南藻園 副施設長 栗本 信明
16:20 16:30	寸劇(後半)「子どもの貧困と不登校」社会福祉士会子ども未来部会委員 終了

***参加対象** 本会会員、子どもの福祉に関心のある方

***定員** 100名(先着順)

***参加費** 会員500円、非会員1,000円

***申込方法** 裏面申込書にてFAX又は郵便にて

***申込み締切** 平成29年11月20日(月)

***講師紹介**

■林 浩康 日本女子大学人間福祉学部社会福祉学科教授

北星学園大学に11年間勤務し現在、日本女子大学社会福祉学科教授。学生時代、里親に委託されている子どもたちのキャンプなどでのボランティア活動を契機に里親に関心をもつ。これまで社会的養護や要支援児童への支援のあり方に関心をもって取り組んできた。拙著『社会的養護施策の動向と家族支援・自立支援』『子どもと福祉』『ファミリーグループ・カンファレンス入門』等。厚生労働省社会保障審議会児童部会委員。

***シンポジスト紹介**

■池田真紀

フリーソーシャルワーカー（精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士・介護支援員）

北大公共政策大学院公共政策研究センター研究員、元ヒューマンハーバー・AI 代表、元内閣官房地域活性化伝道師

■鹿川靖子

帯広市スクールソーシャルワーカー、帯広市成年後見支援センター職員

■栗本信明

（財）鉄道弘済会 児童養護施設 札幌南藻園 副施設長、元北海道中央児童相談所長

【お申込み・お問い合わせ先】

下記「参加申込書」に必要事項をご記入の上、郵送・FAX・メールにてお申込み下さい。

公益社団法人北海道社会福祉士会事務局（平日 9:30～16:30）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階

電話 011-213-1313 FAX 011-213-1314 メール info@hokkaido-csw.or.jp

北海道社会福祉士会 事務局 行 《FAX 011-213-1314》

『子どもの未来を考えるシンポジウム』参加申込書

氏名		会員 ・ 非会員
所属		
連絡先	(電話番号)	